



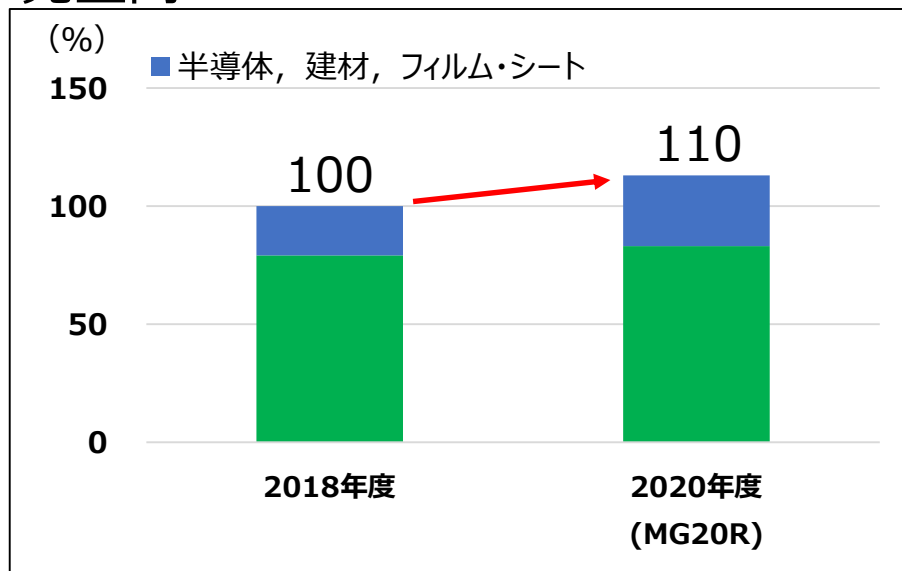
中期経営計画 MG20R 事業説明会 スリオンテック事業本部

1. MG20R 中期経営計画

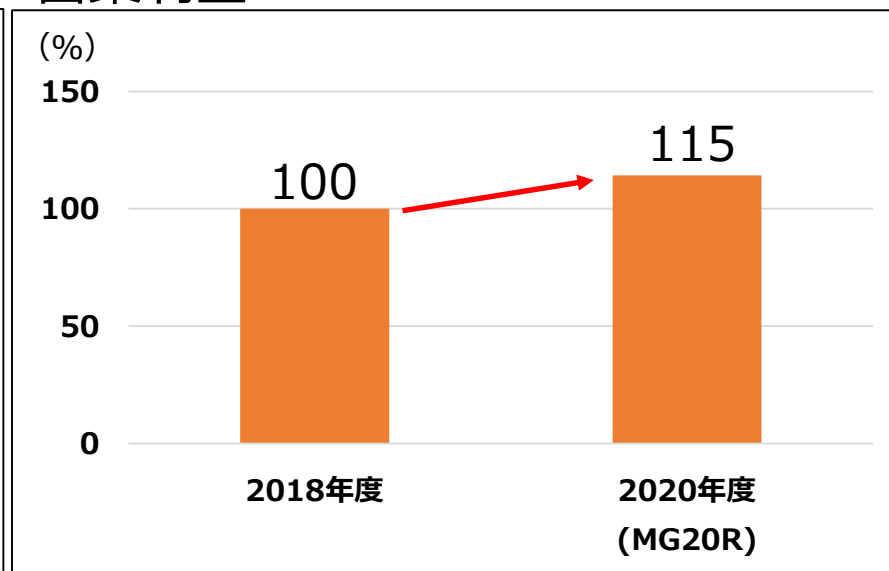
MG20R目標

■ 売上高	110% (対18年)
■ 営業利益	115% (対18年)

売上高



営業利益



(注)クレハエラストマーは、2019年1月から管理連結であるが、18年度グラフは年換算値で記載

■ 中計基本方針

1. 半導体, 建材分野の海外市場に注力、海外比率25%(2017)→35%以上(2020)
2. インク, フィルム事業による新たな市場への展開
3. クレハエラストマー社とのシナジー効果創出(次期中計で規模感)

* 上記は事業本部の目標値であり、グループの公表値とは一致しません。

2. 事業概要

当社粘着テープ、機能性フィルム・インク製品は日常生活の様々なシーンで活躍しています

エレクトロニクス

- フィルムテープ
- 両面テープ
- シールドテープ
- 透明導電フィルム・インク

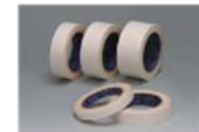


各種産業用

- 自動車ハーネス用テープ
- 電磁波吸収部材
- 工程用両面テープ



- エコソルインク
- UVインク（3D含む）



半導体

- ダイシングテープ
- BGテープ



建築・土木

- ブチルテープ
- アルミテープ
- 建築用ブチルテープ
- 遮熱断熱フィルム



包装・固定

- 布テープ
- フィルムテープ
- フィラメンテープ



混合・分散のコアテクノロジーを活用し
様々な分野でのニーズにお応えします

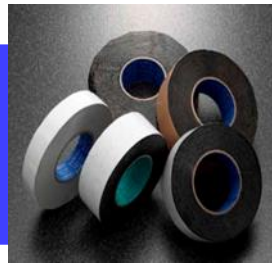
3. 事業の強み

事業特性 生活基盤に密着した堅実な事業
+ メガトレンドの中で高度な技術要求がある製品群

○生活基盤に密着した事業・・・国内外で安定した需要



布粘着テープ
梱包用、養生用



ブチルテープ
住宅防水、自動車防振



アルミテープ
冷蔵庫用、ダクト固定



フィラメントテープ・フィルムテープ
家電等梱包時仮固定

・合理化投資やPIP活動によって堅実な事業を維持⇒収益性



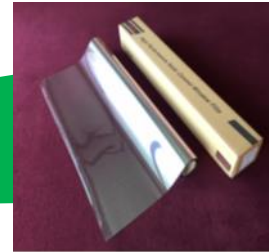
○高度な技術要求がある製品群・・・海外市場における成長アイテム



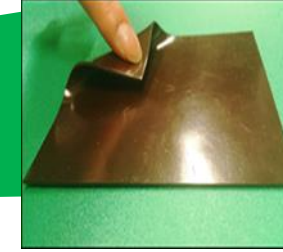
ダイシングテープ
半導体製造用



バックグラインドテープ
ウェハ研磨用



遮熱断熱フィルム
窓の遮熱・断熱用途



電磁波吸収部材
自動運転対応、5G市場向け

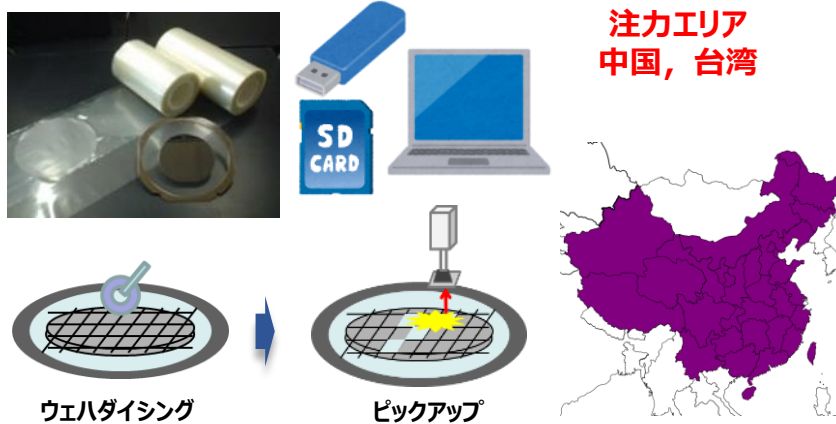
・新規材料，技術を積極的に取り入れ，成長市場へ⇒成長性

4. MG20R達成に向けた成長戦略

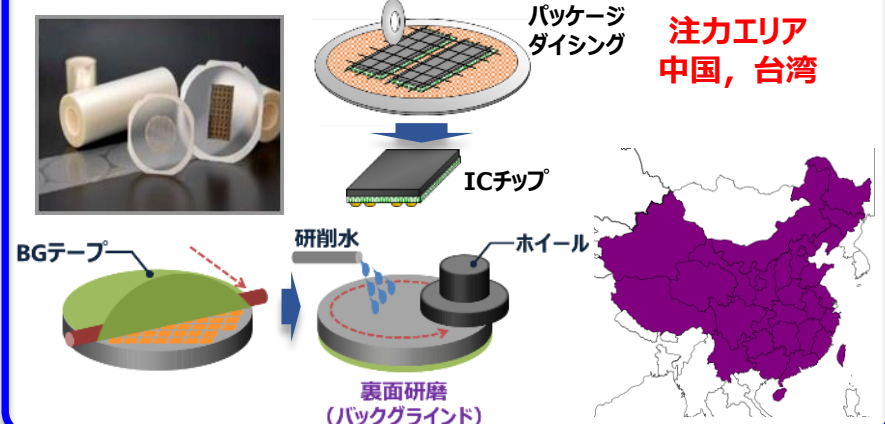
半導体，建材事業の海外展開

1. 半導体関連

・NANDフラッシュメモリ市場向けウェハ用DCテープの開発と拡販



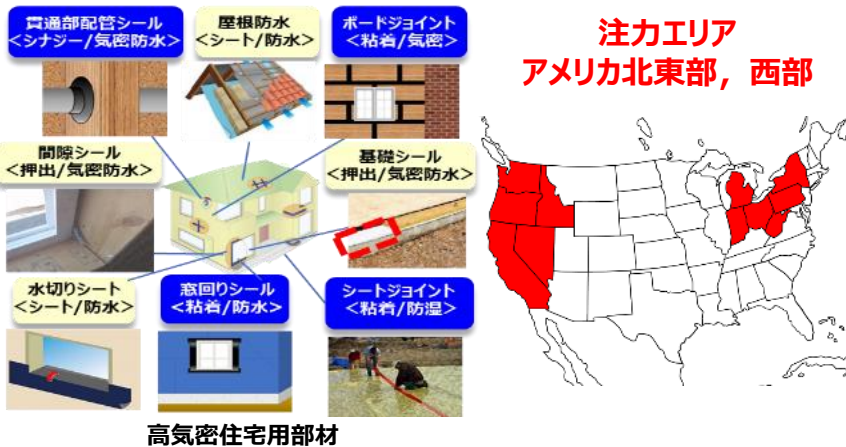
・中国・台湾市場へPKG用DCテープとBGテープを投入



※PKG用DCテープ：パッケージ用ダイシングテープ

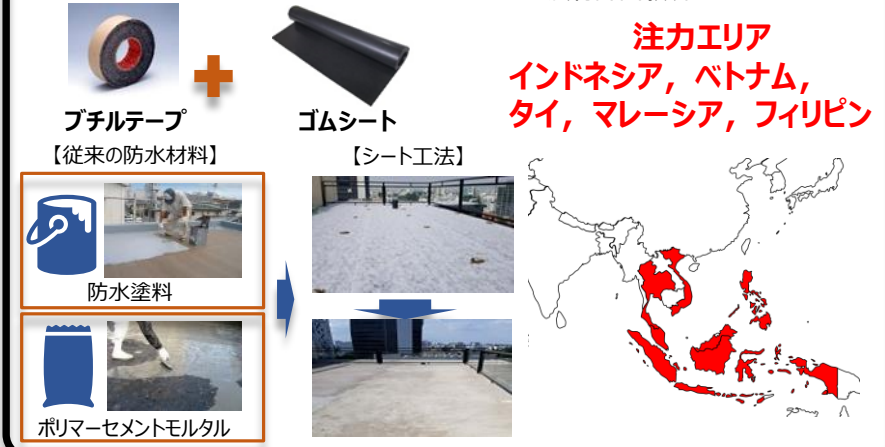
2. 建材関連

・北米向け高気密住宅市場への参入



・東南アジアへ新規防水工法提案

※工法特許出願済

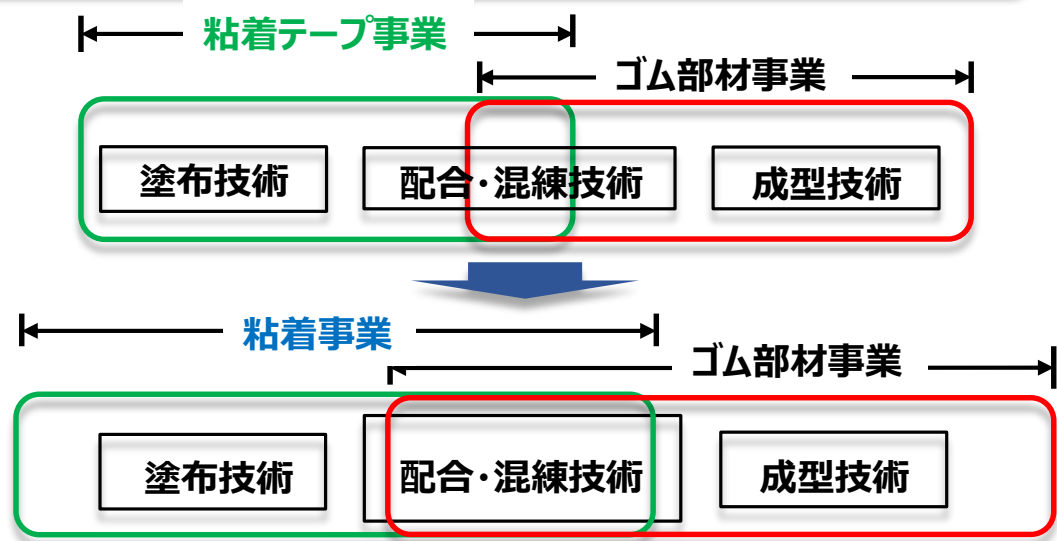


4. MG20R達成に向けた成長戦略

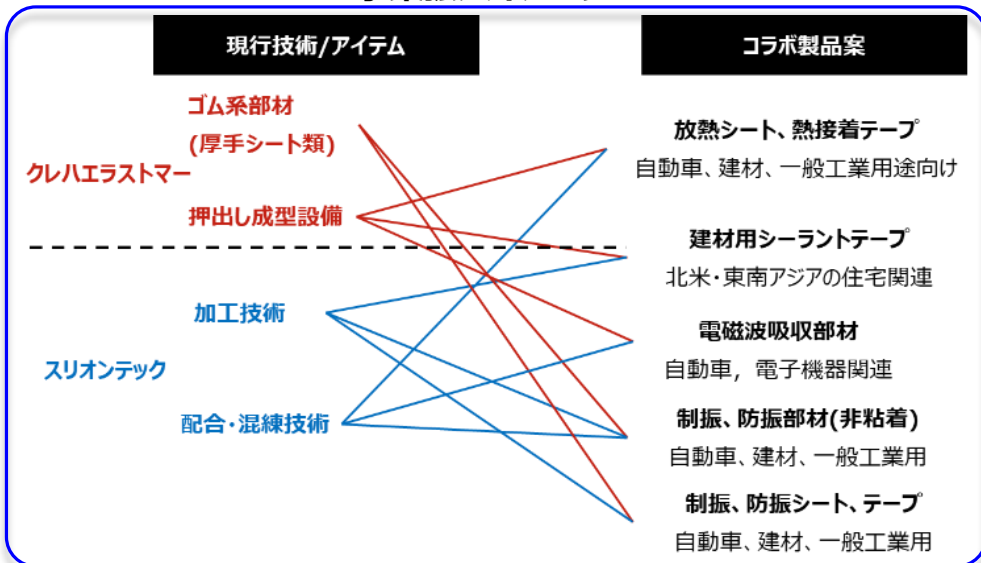
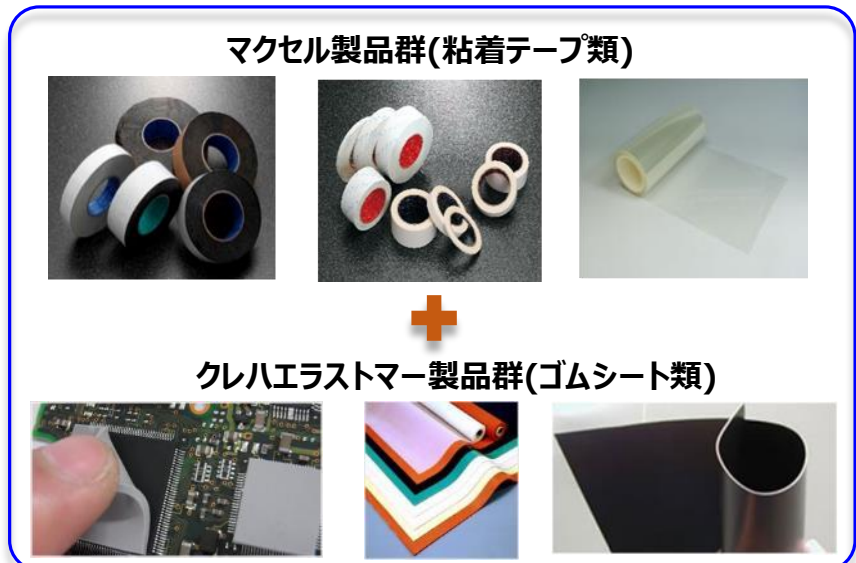
クレハエラストマーとのシナジー

MBPによる効果

- ・粘着テープ依存からの脱却
- ・ゴム系材料の配合，混練技術の強化
- ・粘着加工技術と押出加工技術の融合
- ・機能性部材料対象市場の拡大



事業拡大イメージ



5. 成長ドライバー製品

主要製品

市場状況と重点戦略

売上

利益率

粘着製品



住生活
インフラ

ダイシングテープ



- NANDフラッシュメモリー市場向け，ウェハ用DCテープの開発強化
- 中国・台湾市場向け汎用DCテープの拡販強化



住生活
インフラ

気密防水テープ



- 人口増加と経済成長が見込まれるエリアに特化
- 北米市場は高気密住宅向け部材を投入
- 東南アジアは新規工法としてシート防水工法を提案



フィルム製品



住生活
インフラ

遮熱断熱フィルム



- 省エネルギー化に貢献する窓用フィルム
- 国内外での拡販



2021年以降

2021年以降



自動車



住生活
インフラ

電磁波吸収部材



- 自動運転(ミリ波レーダー)・5G市場へ貢献する部材
- 事業拡大(クレハエラストマー協業)



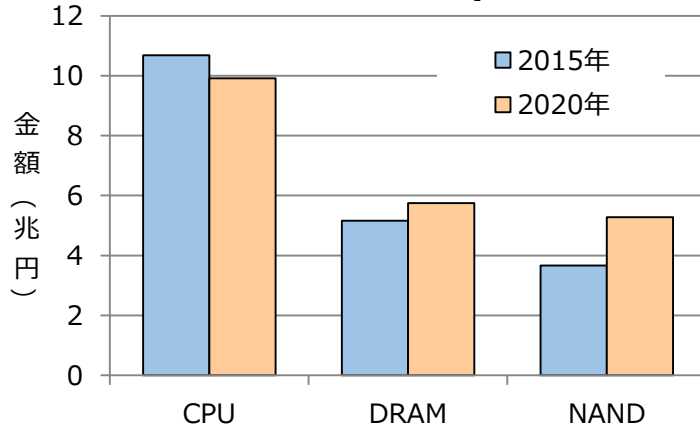
2021年以降

2021年以降

6-1. 主要製品：半導体製造用テープ

市場規模、成長率

- 2020年の半導体製品別売上規模は全体で7%成長
NANDフラッシュメモリ用が伸長(CAGR=7.5%)



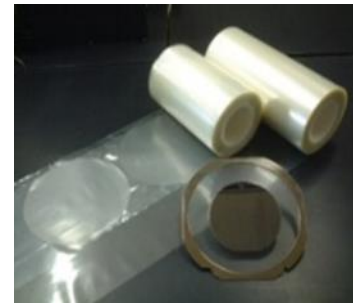
半導体主要製品別売上予測

出展) 2017 先端/注目半導体関連市場の現状と将来展望 富士キメラ総研

製品特長 (強み)

特徴

- ・各種プロセスに対応した製品ラインアップ
- ・中国市場における顧客信頼性
- ・顧客のカスタマイズ設備に対応した製品設計



ダイシングテープ



バックグラインドテープ

主要市場シェア・ポジショニング

- ・ダイシングテープ市場全体では約 7 %のシェア(W/W)
- ・中国市場シェア 25%以上 (PKG用ダイシングテープ)

今後の注力ポイント

■ NANDフラッシュメモリ市場と汎用DCT市場の戦略

- ・NAND用DCTの開発注力継続
- ・新規プロセス用DCTの開発加速
- ・ウェハプロセスの中国市場移管対応

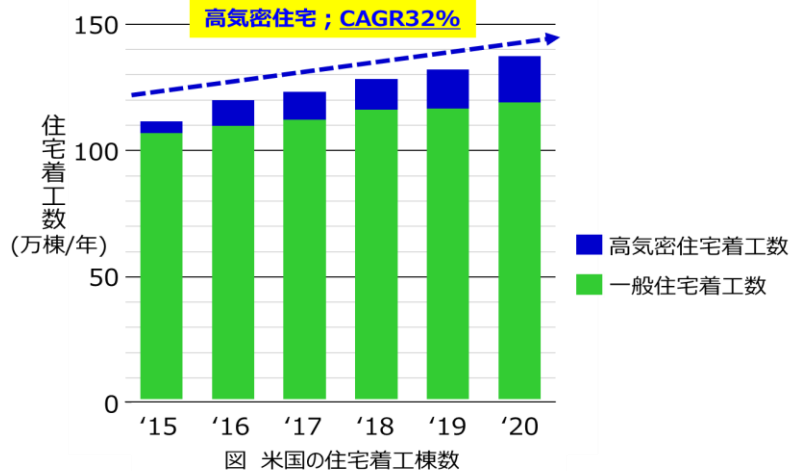
中期経営計画 (MG20R) 目標

営業利益率 10%以上

6-2. 主要製品：気密住宅用テープ

市場規模、成長率

- 北米住宅は年間100万棟を超える着工数を維持、高気密住宅市場は着実に成長(CAGR=32%)



出典) 実績：米人口統計局(2018) 予測：各州建築基準を基に当社作成

製品特長（強み）

特徴

- 易作業性と気密性能を両立
(作業者の熟練度に起因する施工バラツキの抑制)
- 実績のあるブチル系粘着剤を使用



従来技術



当社技術



主要市場シェア・ポジショニング

- 国内シェア；35% 第2位
- 北米シェア7%をめざす(2020年)

今後の注力ポイント

現地パートナー選定と認知度アップ

- 既存顧客への気密テープ市場参入提案
- 現地進出中の日系企業との協業検討
- 気密部材ラインアップの拡充(クレハエラストマー協業含む)

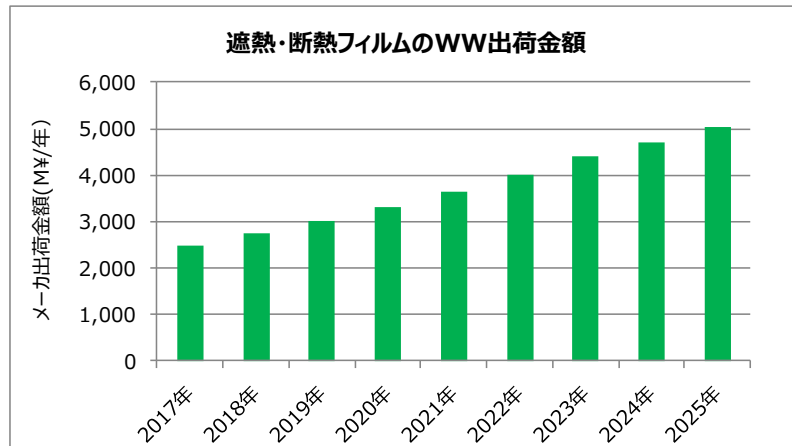
中期経営計画（MG20R）目標

営業利益率 20%以上

6-3. 主要製品：遮熱断熱フィルム

市場規模、成長率

- 遮熱・断熱フィルム(CAGR=9%)
省エネルギー化の動向注目（建築物省エネ法など）



矢野経済研究所「環境・省エネ関連窓材市場に関する調査結果 2015」+マクセル試算

製品特長（強み）

- 特徴
 - ・業界トップクラスの遮熱・断熱特性
（2018年の超モノづくり部品大賞を獲得）
 - ・スクリーン機能による高機能品をラインナップ
（2019年に商品化予定）
- 特許
 - ・基本特許は国内外で出願済み



製品写真(ロール)



マクセルPJを使用したスクリーン

主要市場シェア・ポジショニング

- ・高い透明性・遮熱性・断熱性を有する製品は少ない
（現状は性能面で競合となる他社品は無い）
- ・現状のシェアは1%
- ・2021年にシェア10%をめざす

今後の注力ポイント

- 海外市場への拡販
 - ・国内市場は数量拡大に慎重
 - ・海外顧客からの引き合い多数
 - ・効率生産（製品幅ラインナップ）

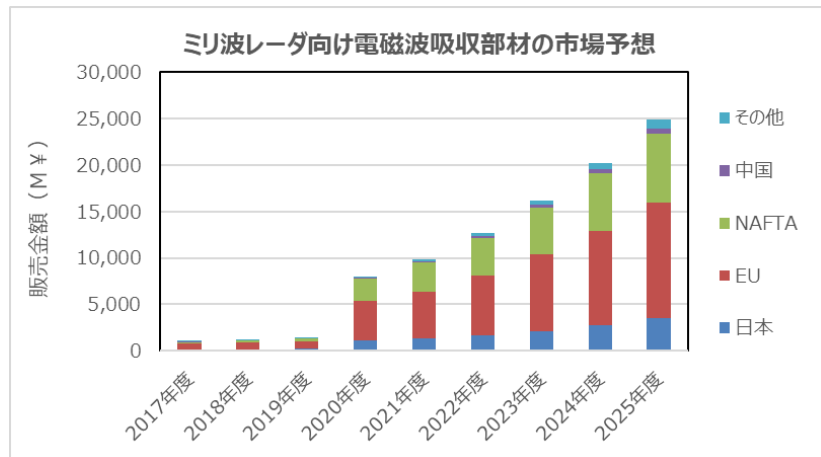
中期経営計画（MG20R）目標

営業利益率 10%以上（2021年度）

6-4. 主要製品：電磁波吸収部材（ミリ波対応）

市場規模、成長率

- ミリ波レーダー市場(CAGR=27%)と同様の成長率
中国製造2025の動向に注視



車載電装デバイス&コンポーネンツ総調査（2018）+ マクセル試算

主要市場シェア・ポジショニング

- ・市場は2020年度から本格的伸長
- ・2020年にシェア10%、2021年にシェア40%をめざす

製品特長（強み）

- 特徴(差別化Point)
 - ・透過型の吸収特性（競合少ない）
 - ・各周波数帯対応（車載76～81GHz）(移動体28～GHz)
 - ・**広い入射角度でも安定した吸収性能**
 - ・**成型体などの部品化が可能**
- 特許
 - ・基本特許包囲網あり
(国内19件、海外PCT11件：米欧中台)



今後の注力ポイント

- 国内車載向け製品化と海外市場への展開
 - ・18年度に海外の車載向けの出荷スタート
 - ・国内外の車載向けの案件多数
 - ・量産体制の構築（クレハエラストマー協業含む）

中期経営計画（MG20R）目標

営業利益率 10%以上（2021年度）

6-5. 電磁波吸収部材

	長波 LF	中波 MF	短波 HF	超短波 VHF	極超短波 UHF	マイクロ波 SHF	ミリ波 EHF	サブミリ波 テラヘルツ波	赤外線 可視光 紫外線
周波数	30kHz	300kHz	3MHz	30MHz	300MHz	3GHz	30GHz	300GHz	3THz
波長	10km	1km	100m	10m	1m	10cm	1cm	1mm	0.1mm
主な利用分野	標準電波 ワイヤ給電	船舶通信 AMラジオ 航空機用ビーコン	航空機無線 アマチュア無線 短波放送	防災行政無線 警察無線 航空管制通信 FM放送	携帯電話 無線LAN 衛星測位 アクセスシステム 地上デジタル放送	無線LAN 衛星放送 ETC	衝突防止レーダー（車）（24, 76, 79GHz） 次世代移動体通信 5G（24～86GHz） 衛星通信 高速移動用バックホール（90GHz） 高精度レーダー（140GHz）	環境計測（センシング） 医療分野	
電磁波抑制材料		Fe-Si-B-Cu-Nb		Ni-Cu-Zn フェライト			酸化鉄磁性体	導電材料など （干渉型シート）	
			Mn-Zn フェライト		Fe-Si-Al-Ni				

ミリ波向け
電磁波吸収部材の構成例

ポイントは磁性体の
高分散・高充填

透過型

入射波 → 抑制層

テラ波向け
電磁波吸収部材の構成例

ポイントは塗布の
厚み精度

干渉型

入射波 → 抑制層 → 反射体(金属)

反射波

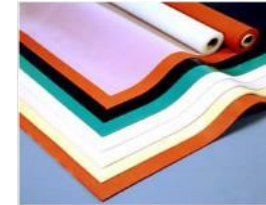
7. クレハエラストマーとのシナジー

クレハエラストマー株式会社

概要

代表者の役職・氏名	取締役社長 海崎 一洋
事業内容	エラストマー分野製品の製造・販売
資本金	1億円
設立年月日	1943年7月28日
従業員数	約300名

主な製品群



各種ゴムシート



型物成形品

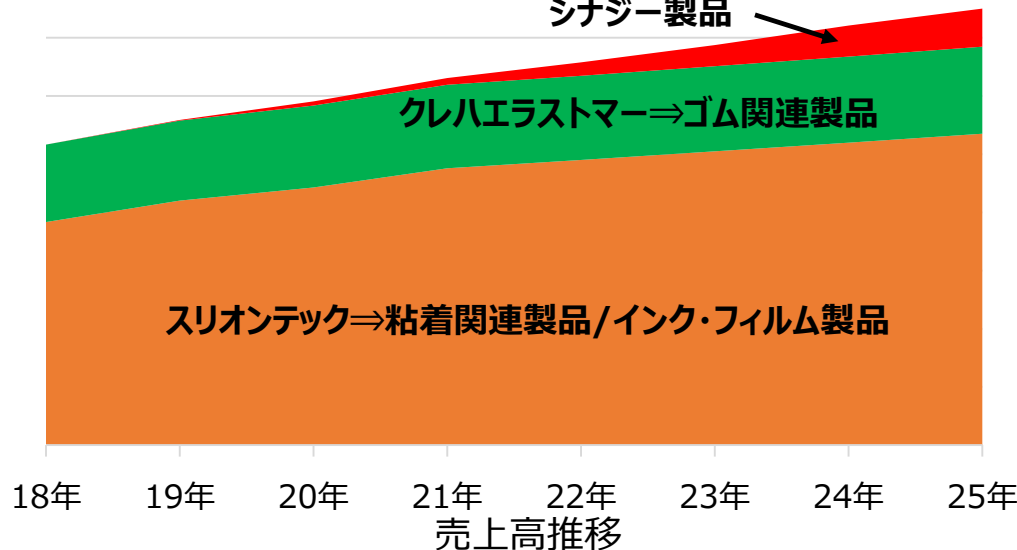


高機能シート



放熱部材

シナジー製品



シナジー効果寄与時期

- ・クロスセールス ; 2019年～
- ・粘着関連新製品 ; 2020年～
- ・電磁波吸収部材 ; 2021年～

(注)クレハエラストマーは、2018年1月から管理連結であるが、18年度は年換算値で記載

maxell
Within, the Future

＜将来に関する記述についての注意事項＞

将来にわたる予想の部分につきましては、皆さまの投資の参考資料として、任意にご提供するものであり、当社の推測・予測に基づくものであります。従いまして、確約や保証を与えるものではありません。

予想と異なる結果となる可能性があることをご認識のうえ、ご活用くださいますようお願い申し上げます。